

# I 鳥取県の住みやすさについて

## 問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約7割～

鳥取県に対する愛着や誇りは、「感じている」が42.9%、「少し感じている」が26.7%と、愛着や誇りを感じている人が69.6%となっている。一方、「あまり感じていない」が4.0%、「感じていない」が2.1%で、愛着や誇りを感じていない人は6.1%と1割に満たない。

令和元年度-8年度を比較してみると、「感じている」「少し感じている」の合計は令和2年度が74.7%と最も割合が高く、それ以降は減少傾向となっているが、令和8年度は前年度より1.4ポイント増加している。

年代別でみると、愛着や誇りを「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、50歳代以上が高くなっている。

性・年代別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、男性の70歳以上が8割以上と高くなっている。

図1 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(n=1,523)

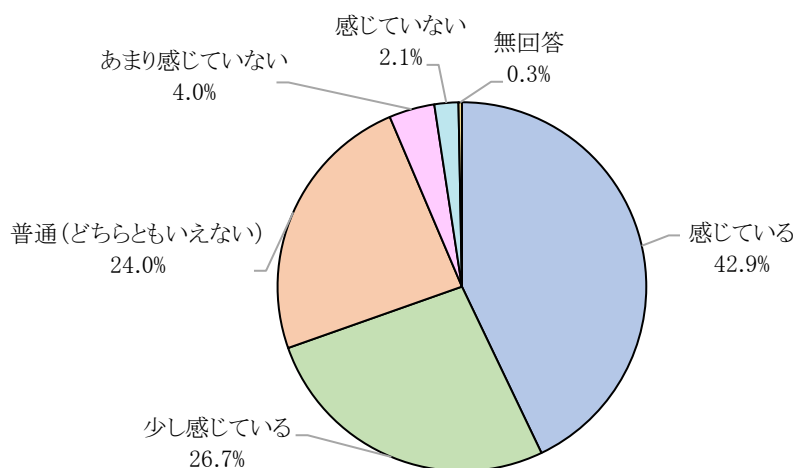


図2 鳥取県に対しての愛着や誇りについて(年次比較)

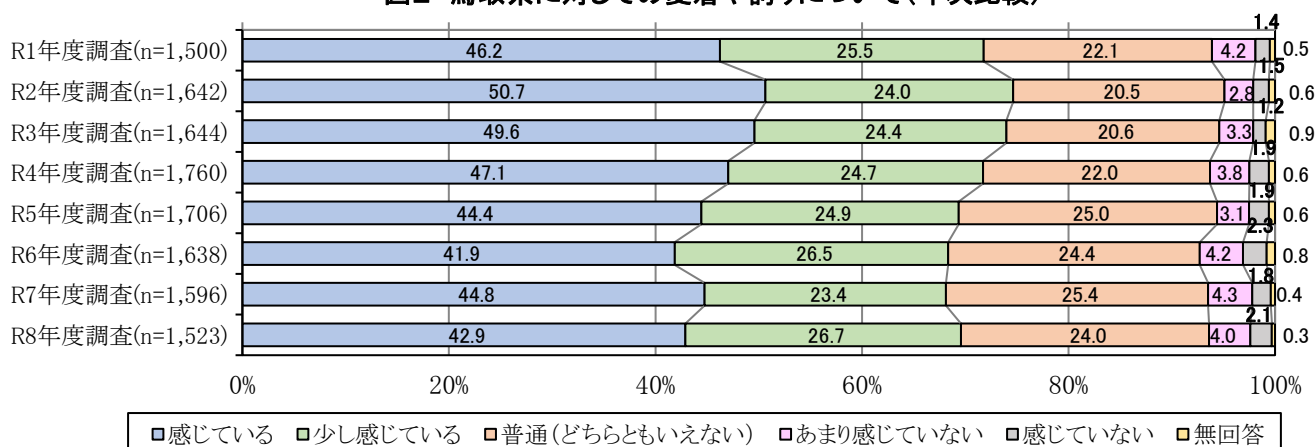
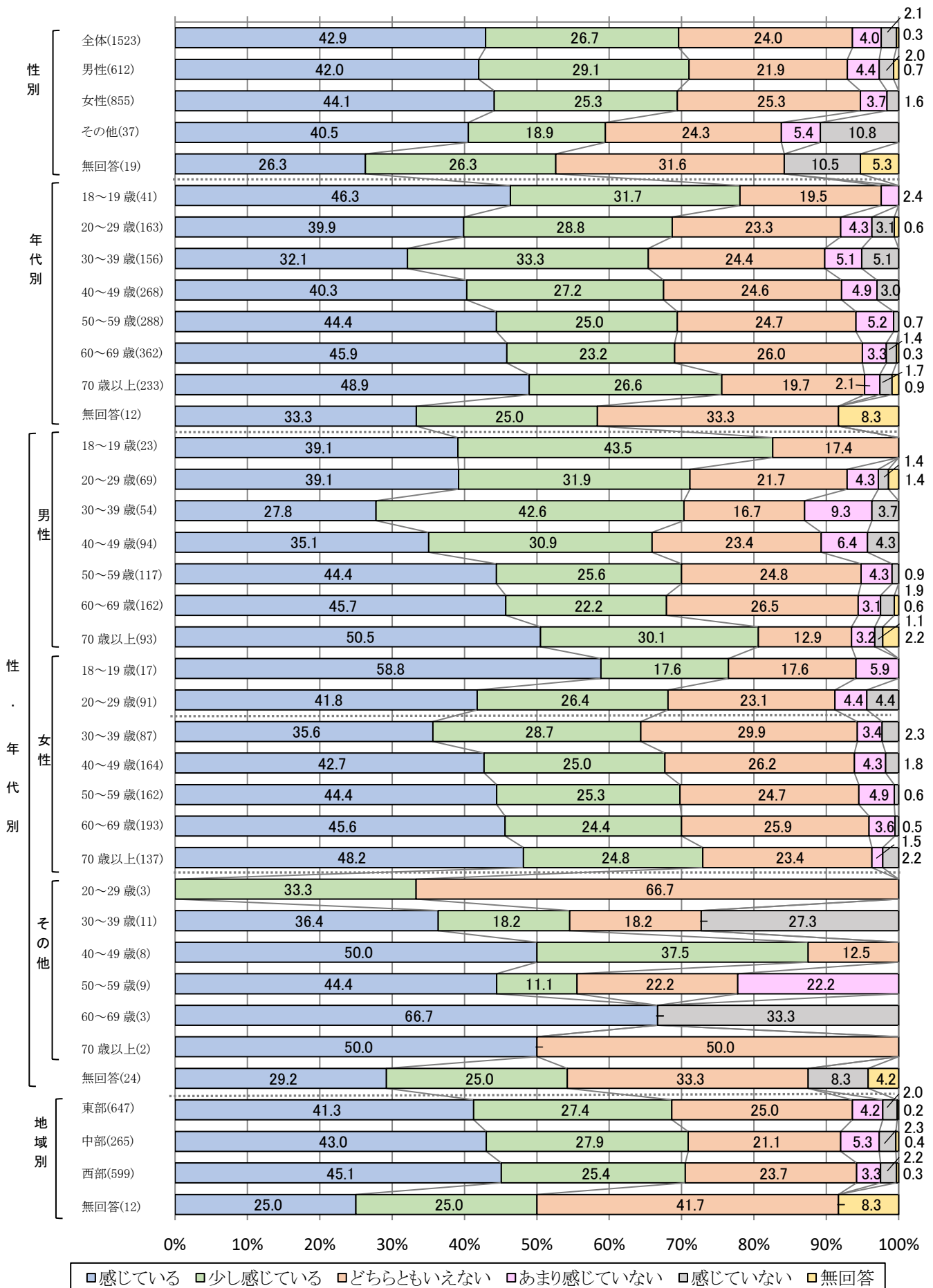


図3 鳥取県に対しての愛着や誇りについて(性別・年代・地域別)



## 問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(〇は1つ)

～「とても住みやすい」「どちらかというに住みやすい」を合わせると約6割の人が住みやすいと回答～

今暮らしている地域の住みやすさは、「とても住みやすい」が18.5%、「どちらかというに住みやすい」が42.9%で、住みやすいと答えている人が合わせて61.4%となっている。

一方、「どちらかというに住みにくい」が7.6%、「住みにくい」が2.2%で、住みにくいと答えている人は合わせて9.8%となっている。

令和元年度-8年度を比較してみると、「とても住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計は、令和2年度の70.7%が最も割合が高く、それ以降は減少傾向となっている。

年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかというに住みやすい」を合わせた割合は、40歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかというに住みやすい」を合わせた割合は、男性は70歳代以上で高く、女性は50～60歳代が高くなっている。

地域別でみると、「とても住みやすい」「どちらかというに住みやすい」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図4 今暮らしている地域の住みやすさ(n=1,523)

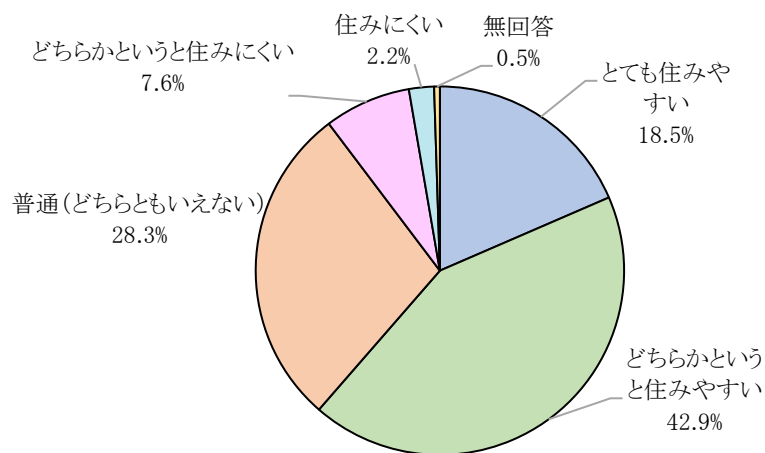


図5 今暮らしている地域の住みやすさ(年次比較)

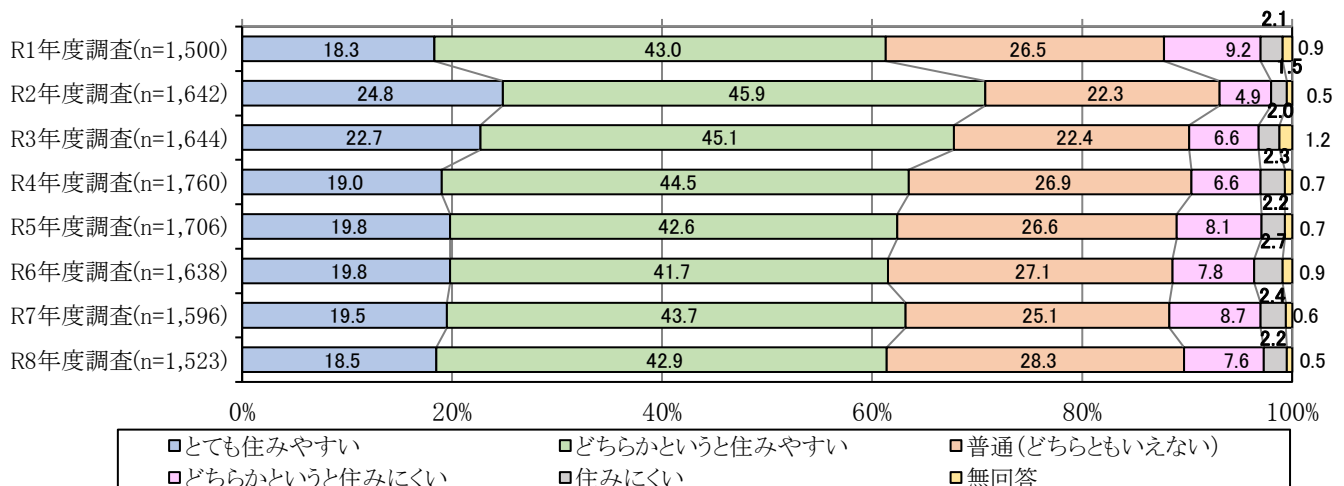
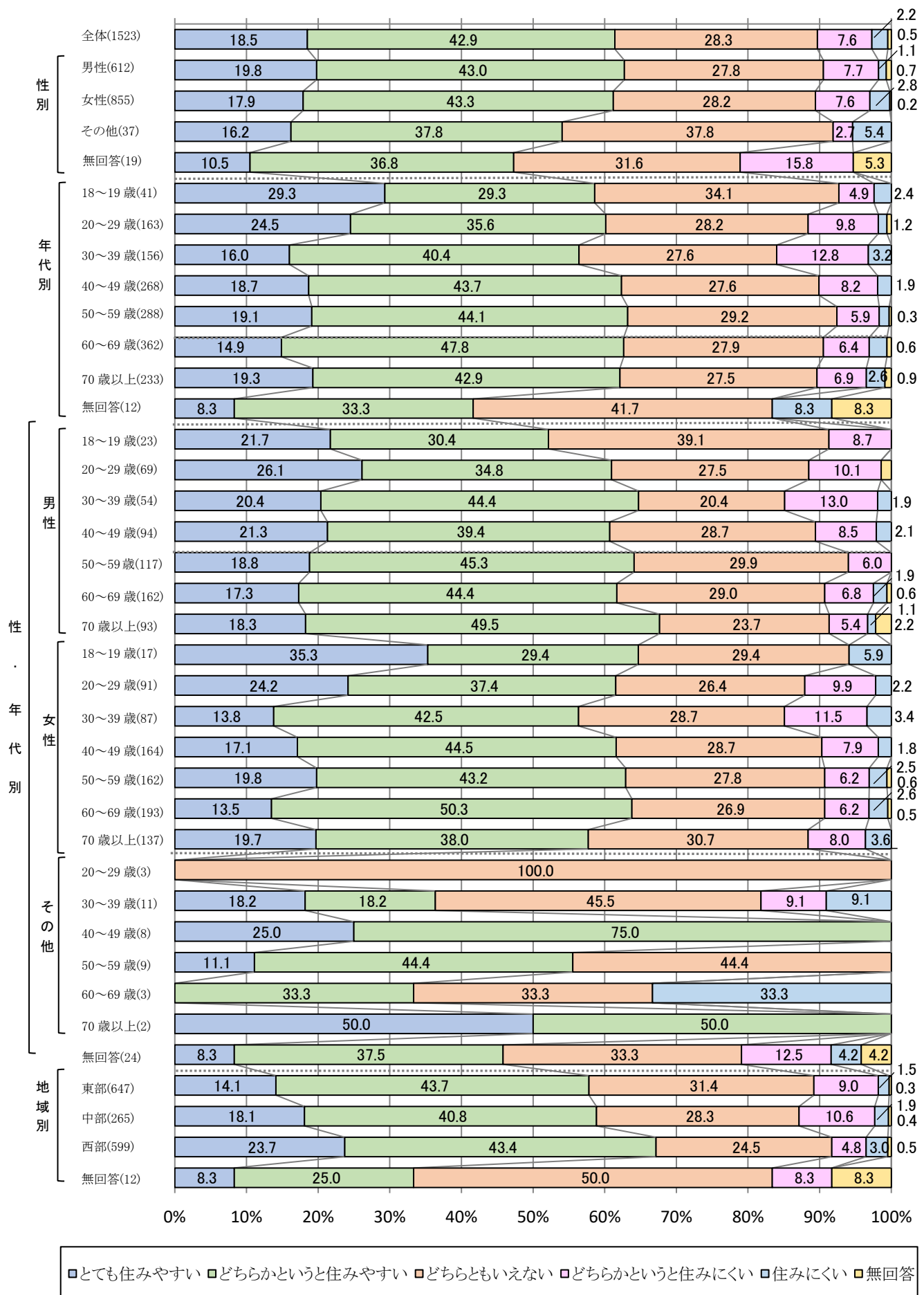


図6 今暮らしている地域の住みやすさ(性別・年代・地域別)



**問3 鳥取県に暮らしていて、次の項目(設問)についてどう思われますか。**  
**項目ごとにいずれかに○を記入してください。**

**～「豊かな自然環境に恵まれている」と思う人が約9割～**

鳥取県に暮らしていてよく感じる(そう思う)項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が90.2%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が62.5%、「住んでいる住民(県民)が親切である」が54.0%、「地域での人と人とのつながりがある」が47.9%と続き、自然環境、治安、人とのつながりを鳥取県に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県に暮らしていて良いと感じない(そう思わない)項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が61.7%で最も割合が高く、次いで「子どもの教育環境が充実している」が16.9%、「医療や介護の体制が充実している」が16.5%となっている。

令和元年度-8年度を比較してみると、「豊かな自然環境に恵まれている」は、よく感じる(そう思う)との回答が全ての年度で約9割、「住んでいる住民(県民)が親切である」は全ての年度で5割台、「地域の治安が良いと感じている」は全ての年度で6割台となっている。また、「地域の防災組織が整っている」「子育て支援が充実している」については、前年度より僅かに増加している。

**図7 鳥取県の暮らしについて (n=1,523)**

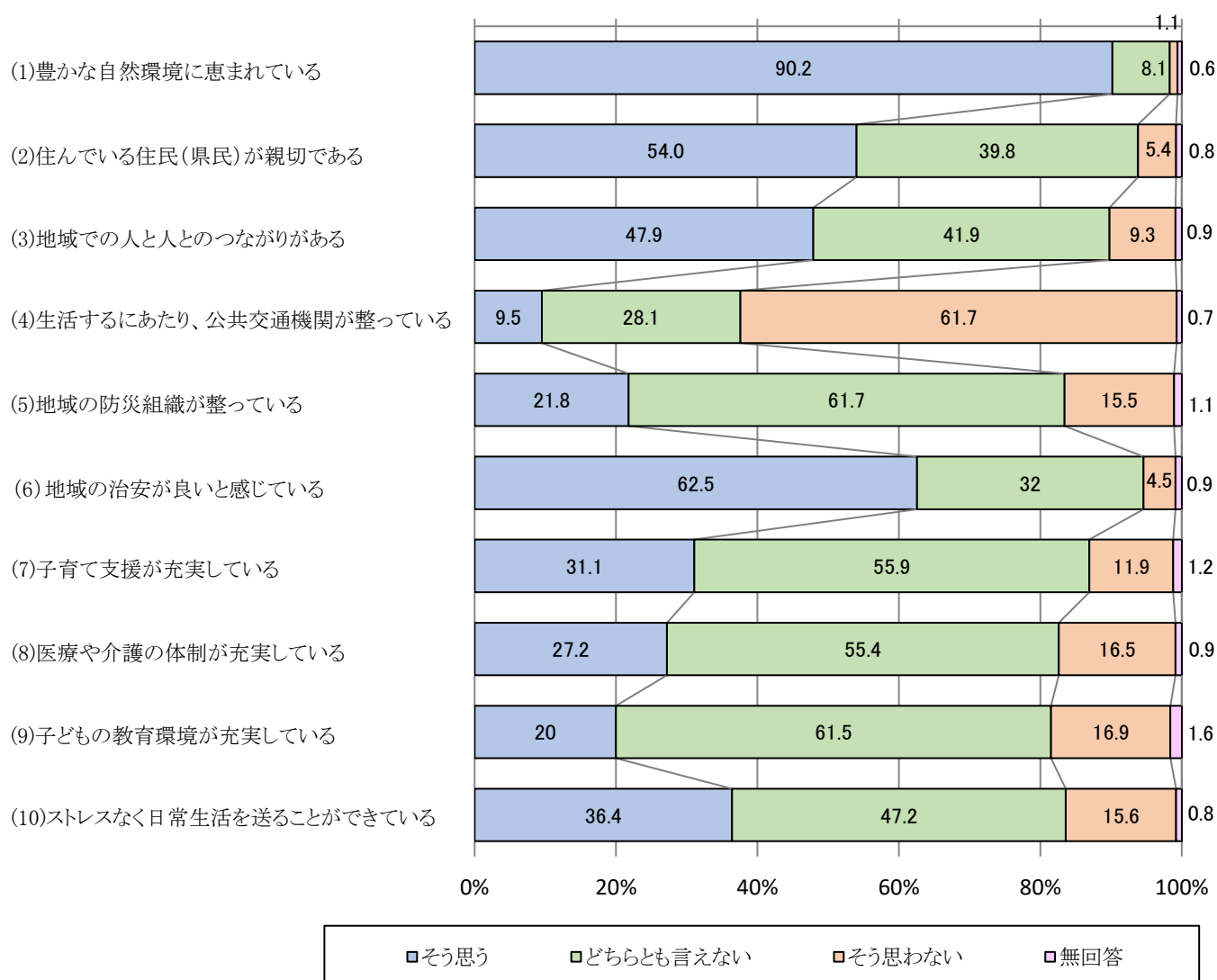
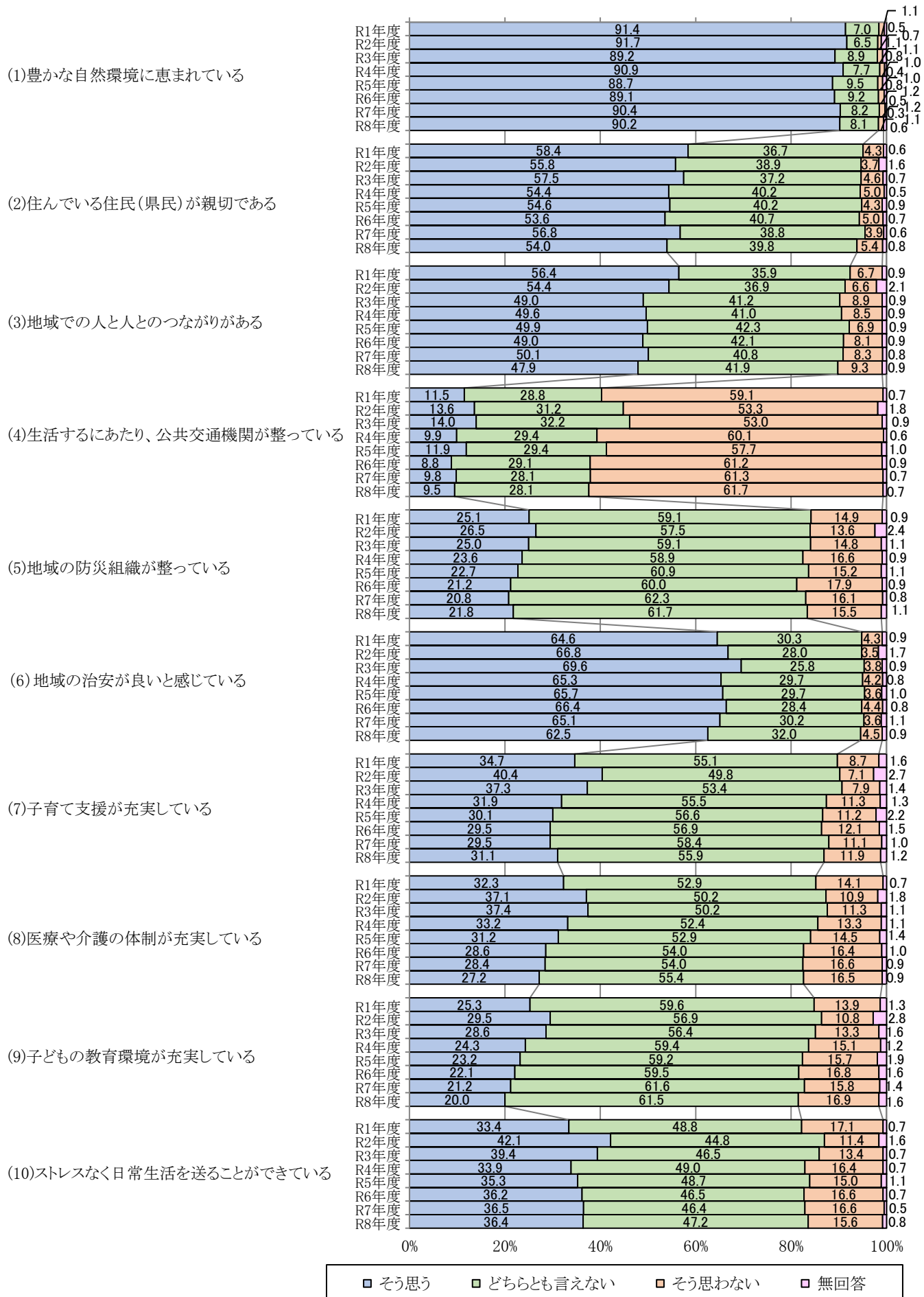


図8 鳥取県の暮らしについて(年次比較)



#### 問4 鳥取県に暮らして、あなたは今の程度「幸せ」ですか。

##### ～5点「普通」から10点「とても幸せ」が約9割～

幸福度について10点満点で質問したところ、5点「普通」が27.5%と最も割合が高く、8点18.9%、7点19.3%、6点11.6%と続き、5点「普通」以上と回答した割合は88.6%となっている。

性・年代別でみると、幸福度5点以上は男性の50歳代、女性の30歳～40歳代、60歳代で高くなっており、特に女性の30歳代は他の年代と比べ高くなっている。

図9 鳥取県に暮らして、あなたは今の程度「幸せ」ですか（年次比較）

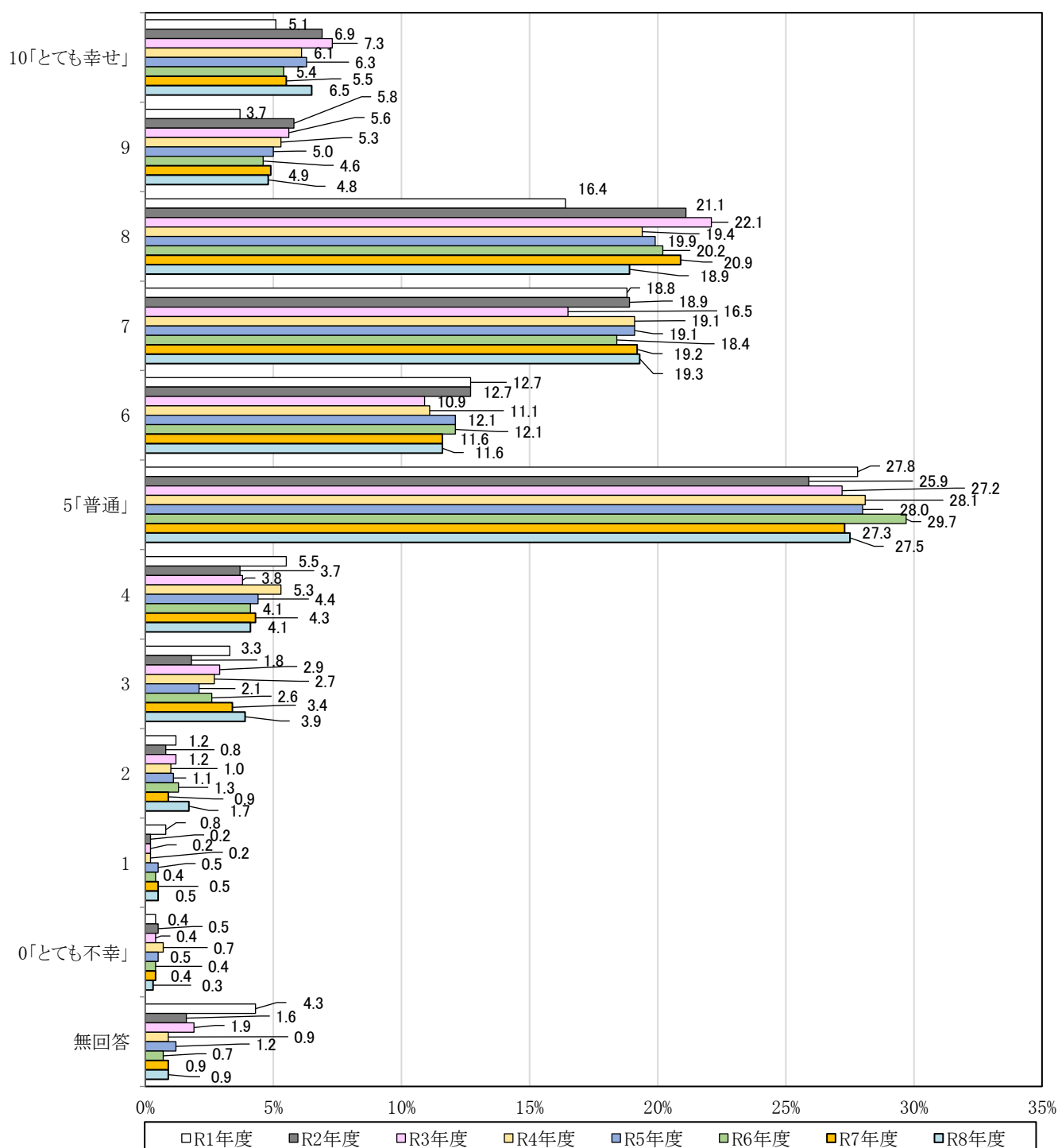
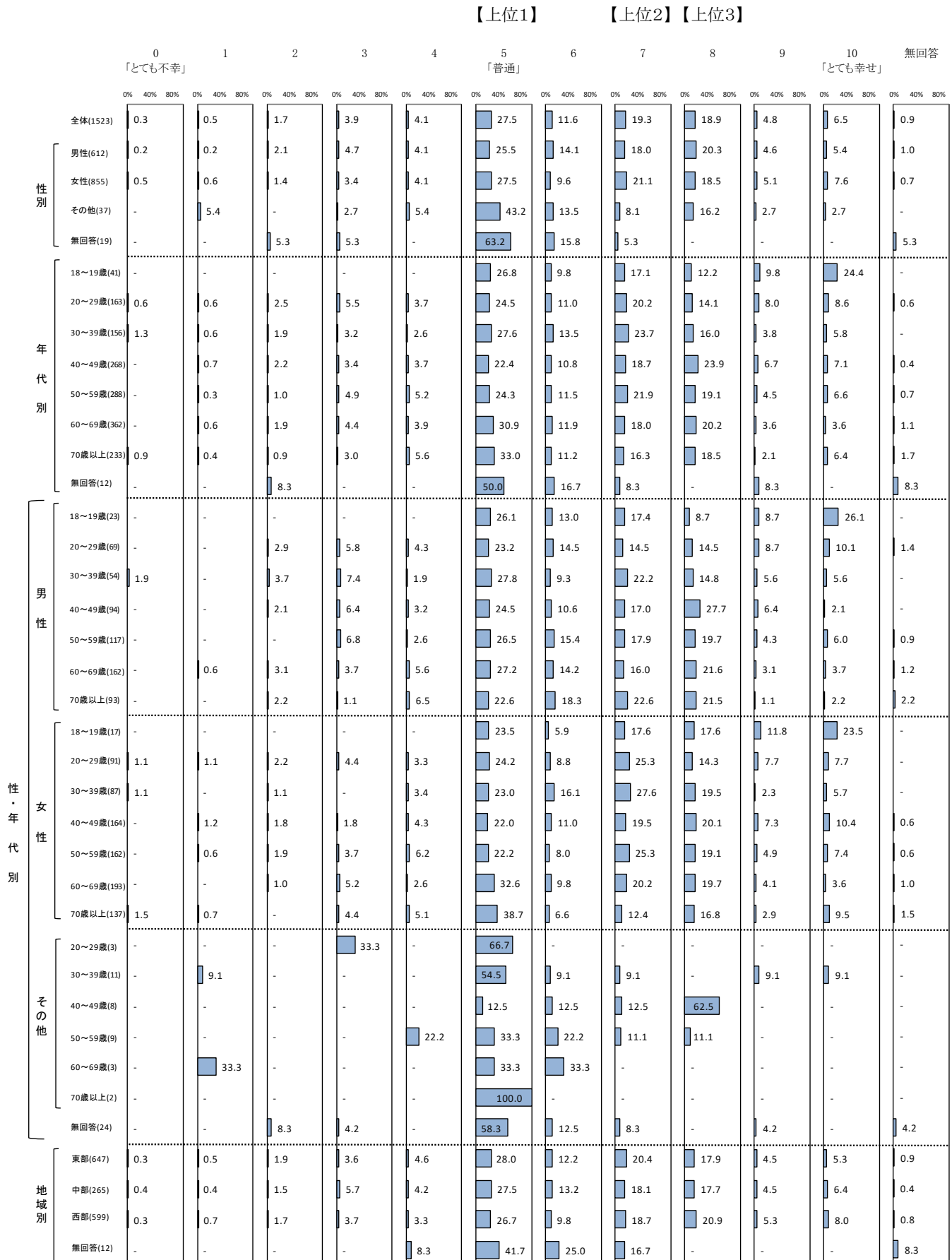


図 10 鳥取県に暮らしていて、「幸せ」ですか(性別・年代別・地域別)



## 問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(〇はいくつでも)

### ～「家計の状況」「自身の健康の状況」「家族関係」「精神的なゆとり」を重視～

幸福度を判断するときに重視することは、「家計の状況」が 71.2%と最も割合が高く、次いで「自身の健康の状況」が 68.4%、「家族関係」が 59.2%、「精神的なゆとり」が 54.4%となっている。

令和元年度-8年度を比較してみると、上位3項目は常に「家計の状況」、「自身の健康の状況」、「家族関係」となっている。

年代別でみると、「家計の状況」は 30～60 歳代、「自身の健康の状況」「自然環境(住みやすさ)」は 60 歳代以上、「家族関係」は 40 歳代、「精神的なゆとり」は 30 歳代、「自由な時間(充実した余暇)」「趣味などのいきがい」「仕事(学校)の充実度」は 20～30 歳代が高くなっている。

性・年代別でみると、「家計の状況」は女性の 30～50 歳代、「自身の健康の状況」は女性の 40 歳代、60 歳代以上、「自由な時間(充実した余暇)」、「趣味などのいきがい」は男性の 20～30 歳代で高くなっている。

図11 「幸福度」の判断で重視することは（年次比較）

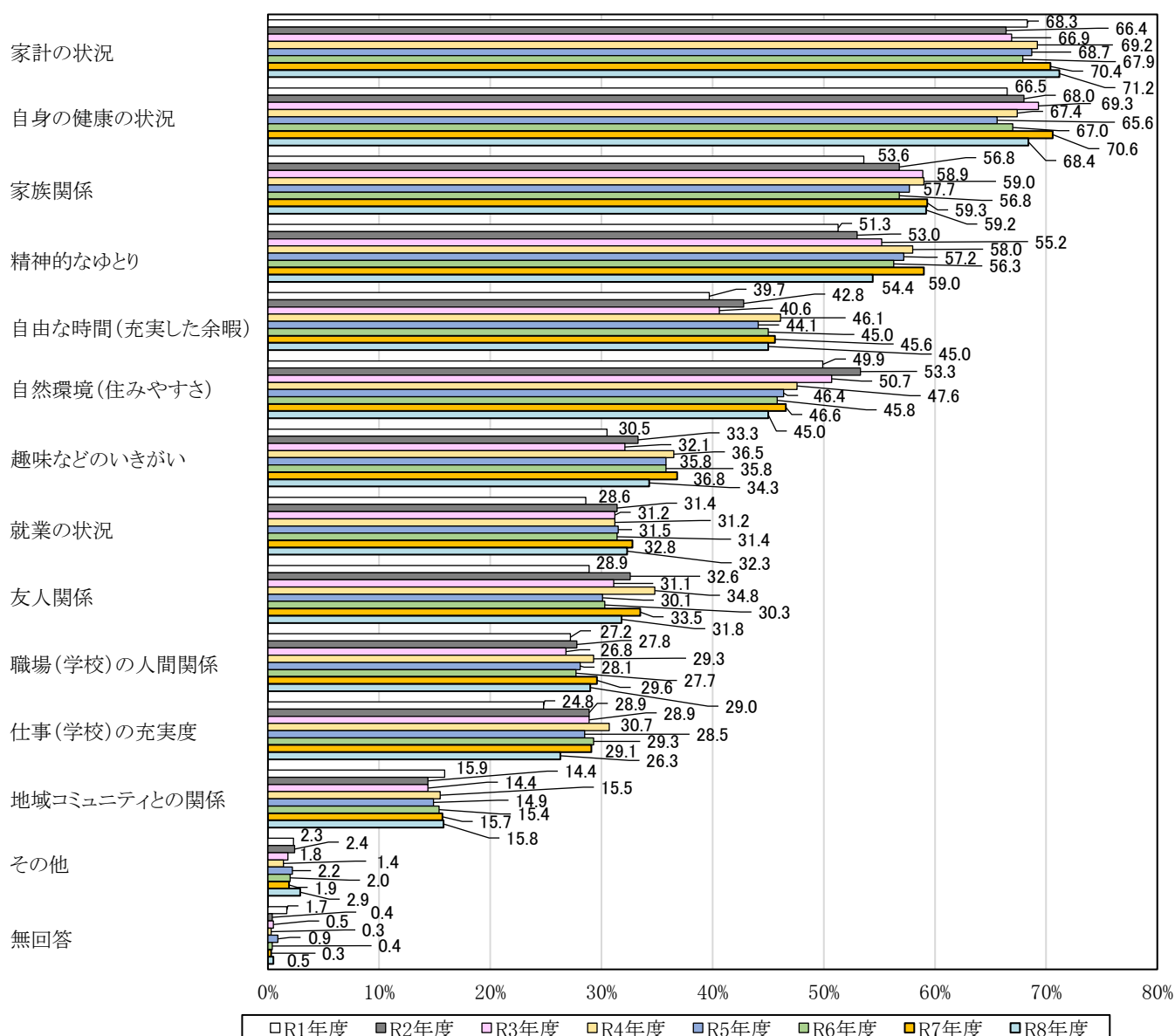


図 12 「幸福度」の判断で重視すること(性別・年代別・地域別)

